

校長及び教員としての資質の向上に関する指標(教員等育成指標)

(養護教諭)		採用時 (～22歳)	基礎力の形成期 (23歳～27歳) 1～5年	実践力の向上期 (28歳～32歳) 6～10年	実践力の充実期 (33歳～37歳) 11～15年	実践力の発展期 (38歳～47歳) 16～25年	総合力の発揮期 (48歳～) 26年～
キャリア・ライフステージ 年齢 (目安) 教職経験年数 (目安)							
校内での役割		養護教諭					
目指す教員像		初任校における学校勤務の経験を通じて、教育活動に関する基礎的な職務遂行能力を身に付けている。		複数の学校勤務の経験を通じて、養護教諭としての基盤を確立し、自らの実践を常に振り返りながら、職務遂行能力を向上させている。		学校運営の中堅として、学校全体を見渡す視野を持ち、若手教員の模範となりながら職務遂行能力を更に高めている。	
岩手の基本研修 (キャリア・ライフステージに応じた基本研修)		初任者研修	2年目研修	3年目研修	教職経験者 5年研修 (6年目)	中堅教諭等 資質向上研修 (11年目)	ステージアップ 研修<前期> (45歳～)
1 教員としての素養		<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び続ける意欲・探究心 使命感、責任感、倫理観 教育的愛情、人権意識 豊かな人間性 コミュニケーション力 課題に立ち向かう力 					
2 養護教諭の専門領域における職務		<ul style="list-style-type: none"> 養護教諭の専門領域における職務の内容を理解している。 保健管理 保健教育 個別の保健指導、健康相談 保健室経営 保健組織活動 					
3 生徒指導力		<ul style="list-style-type: none"> 発達支持的生徒指導 いじめ等の問題行動・不登校等への対応 教育相談 					
4 マネジメント力		<ul style="list-style-type: none"> 学校組織における連携・協働 危機管理 関係者等との連携・協働 					
5 復興教育の視点		<ul style="list-style-type: none"> 「いわての復興教育」が本県の教育の柱の一つであることを理解している。 					
6 キャリア教育の視点		<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の考え方や重要性を理解している。 社会や経済の状況に関心を持っている。 					
7 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育 多様性への配慮 					
8 ICTや情報・教育データの利活用の視点		<ul style="list-style-type: none"> ICTや情報・教育データの利活用の意義を理解している。 					

※各視点における総論については、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標の改正について」(別冊P4～6)に掲載しているほか、別紙に記載しています。

(※ 校長の指標は教諭と同じであるため表示を省略)